

令和4年度 文教委員会資料⑤

【所管事務の調査（報告）】

川崎市市民ミュージアム収蔵品台帳の整備及び収蔵品レスキューの状況
について

資料1

川崎市市民ミュージアム収蔵品台帳の整備について

資料2

川崎市市民ミュージアム収蔵品レスキューの状況について

市 民 文 化 局

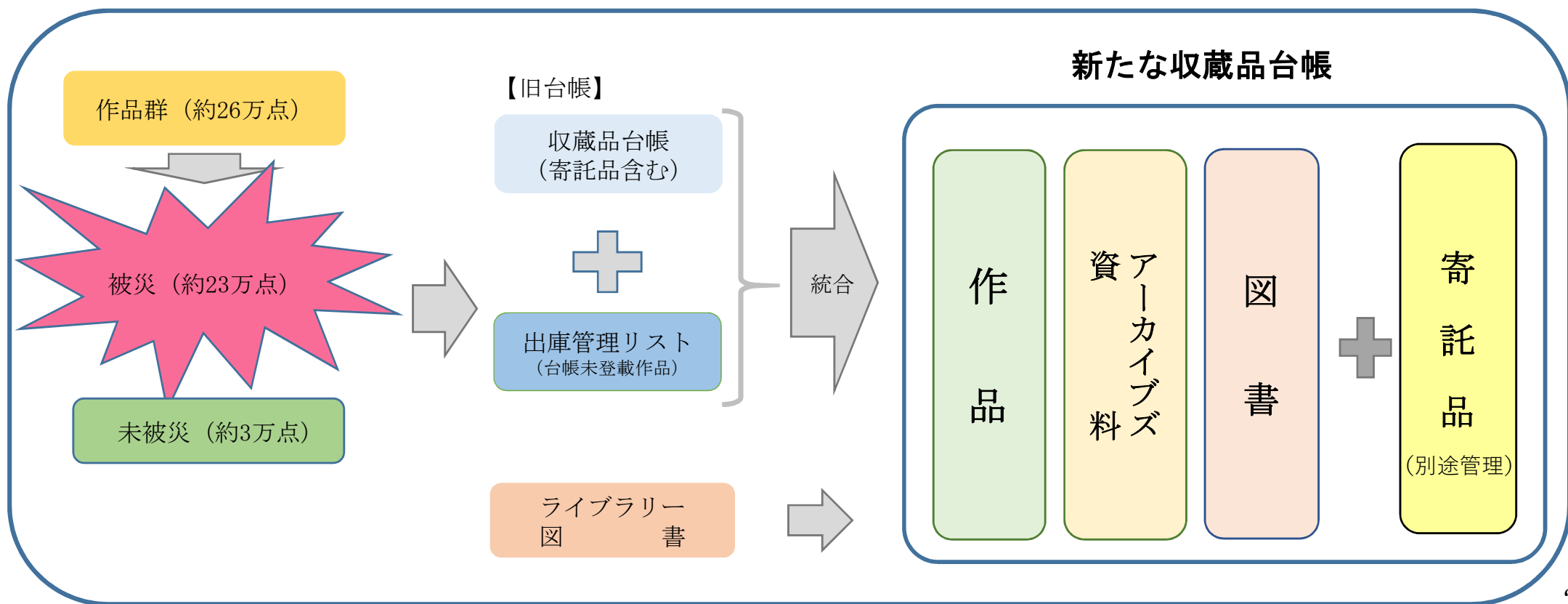
(令和4年5月27日)

1 新たな収蔵品台帳の整備について

- ・市民ミュージアムの収蔵品台帳は、指定管理業務の中で収蔵品の台帳を整備することにはなっていたものの、令和元年に発生した台風19号（東日本台風）により被災した時点においては整備は完了していなかった。
- ・台風19号（東日本台風）により収蔵品が被災し、レスキュー作業の中で出庫管理を行い、リスト化した出庫管理リストを順次、作成し、作品や資料の同定作業をしていることから、既存台帳に登録されていなかった作品や資料が明らかになってきた。
- ・被災収蔵品は、被災前の状況に加え、被災状況、応急処置後及び修復後の状況等を台帳上管理することとした。
- ・新たな収蔵品台帳の作成にあたっては、現在の件数カウントをルール化するとともに、アーカイブズ学を取り入れ、市民ミュージアムにおいて収蔵している作品や資料を「作品」、「アーカイブズ資料」、「図書」の3種類に分類する。
- ・寄託品については、これまで収蔵品数の内数として管理してきたが、他の博物館、美術館における管理方法を参考に、外数として管理することとした。
- ・これらのことから、従来の収蔵品数が変動することになる。

【参考】

アーカイブズとは、ある法人または個人が、その活動の過程で作成、受領し、さらに組織固有の必要のために、それを形成させる主体あるいは後継者によって保管されるが、あるいはアーカイブズ上の価値ゆえに適正な資料保管組織に移管される資料総体。



2 資料の分類基準について

		博物館資料	美術館資料
作品	概念	<p>○歴史的価値や美術的価値があり、展示・保存・調査研究の対象となる作品や資料とする。</p> <p>○書籍等は、原版、初版、作家本人による出版物や限定品又は稀少なもので、将来価値が高まると予想されるものとする。</p>	
	例示	<p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示並びに調査研究に供する川崎市の地域史構築に関わりのある古文書や記録、古地図、絵図、記録写真等 <p>【民俗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示並びに調査研究に供する川崎市の地域史構築に関わりのある生活・習俗・風俗・慣習全般に関する資料（生活道具・農業用具・漁業用具・年中行事用具、電化製品等） <p>【考古】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土器、石器等の埋蔵文化財 	<p>【美術文芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市ゆかりの美術作家等の作品（絵画、画稿（スケッチ）、彫刻等） ・川崎市ゆかりの文芸作家等（岡本かの子、佐藤惣之助等）の作品（原稿、文芸作品、書籍、自費出版作品等） <p>【グラフィック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋、日本の芸術的ポスター等 <p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の芸術的な写真、写真集等 <p>【漫画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本漫画史を形成できる作品や漫画原画、刊行物等の資料（岡本一平や葛飾北斎「北斎漫画」等）や日本との相互影響関係にある外国漫画雑誌資料等（ジャパンプンチ等） <p>【映画・映像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画、映像作品、ニュース映像、ビデオアート作品等 ・作品に関する直筆デザインスケッチ（撮影セットデザイン）、直筆で書かれた脚本の原稿等
アーカイブズ資料	概念	<p>○作品または作家などに付随する副次的資料とする。</p> <p>（※副次的資料とは、作品の制作過程において使用された用具類、資料等や作品の制作過程等を記録した資料等で作品または作家にまつわり、調査研究を通じて収集した資料、史実を体系的に展示するために制作された複製品等を指す。）</p>	
	例示	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘記録映像、遺跡写真 ・現品が他の博物館に所蔵している複製品等 ・展示並びに調査研究に供する川崎市の歴史や特性を把握するために作成された複製品等 ・マイクロフィルム資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・作家が作品制作に使用していた用具類等 ・作家に付随する記録資料等（封書や書簡資料、写真資料等） ・作品に関する記録資料等（デザイン校正資料やポスター、脚本、写真等） ・写真機材 （大判カメラ、35mmネガフィルム用カメラ、様々な年代のカメラ等） ・作品を印刷する際に使用した亜鉛版等
図書	概念	<p>○作品、アーカイブズ資料以外の書籍、雑誌、報告書等の書籍類や市販のビデオソフト等で、販売または再販や複製がされており、入手が可能な書籍等を図書とする。</p>	

3 収蔵品カウント方法及び単位(員数)について

作 品

- ・市民ミュージアムが所蔵する収蔵品総数については、総体として「件」と数える。
- ・ただし、博物館として捉えた場合は「件」と数え、美術館として捉えた場合は、「点」と数える。
- ・なお、単位の設定にあたっては、国立博物館、美術館を参考に設定した。

博物館資料

- 「件」と表記する。

【歴史】

- ・古文書は関連資料一式を1件とし、権利関係書類等や個人に関する記録、絵図、系図等を点等として管理する。
(例：川崎宿森家文書1件1,169点)
- ・屏風は、六曲二双(二隻の屏風)や六曲一隻等、作品単位で1件とする。
ただし、二双で構成される作品を一隻しか所蔵していない場合においても1件とする。
- ・掛軸は、一軸、一卷、一幅を1件とし、双軸(二幅)、三幅対等、軸が複数軸の場合は、作品単位で1件とする。(例：1件二幅)

【民俗】

- ・生活・習俗・風俗・慣習等に関する資料等は、1点を1件とする。
- ・ちゃぶ台等の生活用具や鍬等の農業用具など単独での使用される資料等は、1台(1脚)を1件とする。(1件1点)
ただし、資料名称や形状等が同一の資料がある場合は、それら1式を1件とし、内訳を点等として管理する。
(例：籐の同じ椅子が2脚ある場合では籐椅子1件2点)
- ・コーヒーカップとソーサーのように、1脚(セット)で使用する資料は、1脚(セット)を1件とし、内訳を別途管理する。(例：1件2点)
ただし、コーヒーカップとソーサーの5脚セットの場合は、1件とし、内訳を点等として管理する。(例：1件10点)

【考古】

- ・発掘調査報告書等に掲載の土器片等は、1点を1件とする。
- ・人骨(火葬の灰を含む)等は、原則として個体ごとに1件とするが、複数の個体がまじってしまい区別できない場合は、そのまとまりを1件とする。
- ・遺跡の発掘で得られた土壌サンプルの中にある貝類や堅果類などの自然遺物は、調査の年次・地点ごとに1件とする。

美術館資料

- 「点」と表記する。

【美術・文芸】

- ・絵画は、1枚を1点とし、書籍は1冊を1点とする。
- ・スケッチ(画稿)は、絵画に準ずる。
- ・複数のスケッチが描かれているスケッチブックは、スケッチブック1冊を1点とする。ただし、被災したスケッチブックを修復するにあたり、スケッチブックを解体したことで、1枚ずつ管理する必要が生じた場合等は、スケッチ(画稿)と同様の取扱いとする。
- ・作品原稿は、これまで用紙枚数を点数としていたが、用紙枚数ではなく、作品単位で1点とし、内訳を枚として管理する。

【グラフィック】

- ・ポスター作品は、1枚を1点とする。
- ・複数枚で構成されるポスター作品等は、構成枚数ではなく、作品単位を1点とし、内訳を枚として管理する。

【写真】

- ・写真作品は、1枚を1点とする。
- ・複数枚で構成される写真作品は、構成枚数ではなく、作品単位を1点とし、内訳を枚として管理する。
- ・写真集等は、1冊を1点とする。

【漫画】

- ・漫画原画は、1枚を1点とする。
- ・刊行物や雑誌は、1冊を1点とする。

【映画・映像】

- ・映画や映像作品は、作品単位を1点とし、フィルム等の媒体内訳は巻等として管理とする。(例：1点10巻)
- ・映画セットスケッチデザイン等は、美術・文芸に準じる。

アーカイブズ資料

博物館資料

- 「件」と表記する。
 - ・記録フィルムについては、記録内容ごとに1件とする。
(例：白幡八幡大神初卯祭1件(1巻))
 - ・古文書のマイクロフィルム資料については、同一資料群1式を1件とする。
 - ・調査年次・地点ごとに1件とする。
 - ・展示並びに調査研究に供する川崎市の歴史や特性を把握するために作成された複製品等を1件とする。
(例：複製品等：板碑1件、観音像1件、分量樋模型等1件等)

美術館資料

- 「件」と表記する。
 - ・作家に付随するスクラップ資料等は、1式を1件とし、内訳を点等として管理する。
(例：須山計一等漫画作家等にまつわるスクラップ資料689件8,419点)
 - ・作家が直筆で書いたハガキは、1枚を1件とする。ただし、作家が直筆で書いた封筒とその中の便箋を含め、封筒単位で1件とし、内訳を点等として管理する。(例：安田靫彦書簡 1件26点)
 - ・作品に関するデザイン校正資料等は、その群単位を1件とし、内訳を枚等として管理する。
 - ・カメラ等の撮影機材は使用者(寄贈者)単位を1件とし、内訳を点等として管理する。(例：石渡保使用撮影機材1件27点)
 - ・同一雑誌の印刷に要した亜鉛版一式を1件とし、内訳を点として管理する。
(例：漫画雑誌ガロ印刷用亜鉛版1件2,188点)
 - ・作品に付随する映画ポスターは1枚を1件とする。
 - ・脚本、シナリオ等は1冊を1件とする。

図書

- 「点」と表記する。
 - ・書籍(雑誌、報告書等)1冊及び市販のビデオソフト等1本をそれぞれを1点とする。
(例：他都市の年報や紀要及び企画展図録、月刊美術雑誌、月刊写真雑誌、月刊(週刊)漫画雑誌、市販のドキュメンタリービデオ、アニメ作品等)

4 収蔵品数について

- ・資料の分類基準、単位等に基づき、令和4年4月30日現在における市民ミュージアムが所蔵する収蔵品数は次のとおりとなる。
- ・なお、冷凍保管している紙資料については、状態等が明らかになることで、収蔵品数が増減する場合がある。

分野	収蔵品数	収蔵品	作 品	アーカイブズ資料	図 書	寄託品
歴史	約29,350件	歴史	26,964	107	12,625	2,681
民俗	約21,200点	民俗 (13,951件)	13,757 (13,786)	165	0	30
考古	約72,000件	考古	70,540	1,509	4	19
美術文芸	約11,500点	美術文芸	6,070	26	12,011	13
グラフィック	約10,000点	グラフィック (11,037点)	11,028 (11,029)	8	0	0
写真	約20,250点	写真 (32,774点)	11,762	18	16,192 (20,994)	339
漫画	約64,000件	漫画 (74,503点)	33,202	433	3,389 (40,868)	0
映画	約12,500点	映画	7,335	5,473	0	493
映像	約19,000点	映像 (27,238点)	5,547 (6,676)	1,610	18,952	893
合 計	約259,800点	合 計 (302,167件)	186,205件 (187,364件)	9,349件	63,173点 (105,454点)	4,468件

ライブラリー 図 書	約29,800点
---------------	----------

※括弧内の数字は、処分した作品及び図書を含めた、令和4年4月30日時点における数。

作 品： 民俗 29件、グラフィック 1点、映像 1,129件、合計 1,159件

図 書： 写真 4,802点、漫画 37,479点、合計42,281件

【主な数量変動要因】

- ・寄託品を別管理としたことにより変動したもの。
- ・ライブラリー図書（歴史：12,624点、美術文芸：7,857点、VHSテープ：9,319点）を図書へ分類したことにより変動したもの。
- ・民俗→収蔵品カウント方法に基づき、資料名称や形状等が同一の資料がある場合は、それら一式を1件としたことにより変動したもの。
- ・写真→収蔵品カウント方法に基づき、作品一式を作品ごとに1点としたことなどにより変動したもの。
- ・漫画→台帳に未登録であった作品が明らかとなったこと（20,009点）、収蔵品カウント方法に基づき、漫画作家にまつわる資料をアーカイブズ資料に分類したことにより変動したもの。

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。

定期的な報告として、令和4年4月30日現在の状況をお知らせいたします。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過について（下線：前回からの更新箇所）

(1) これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）	その他支援・協力団体（7団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	日本大学芸術学部写真学科
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	東京大学史料編纂所
国立国会図書館	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益財団法人日本博物館協会	学校法人帝京大学
公益社団法人日本図書館協会	神奈川地域資料保全ネットワーク
全国美術館会議	学校法人東海大学
全国歴史民俗系博物館協議会	
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	
一般社団法人国宝修理装飾師連盟	

(2) レスキュー支援体制（レスキューに入った延べ人数）

- ・委託事業者（指定管理者含む）9,781人
- ・川崎市職員 1,539人
- ・外部支援団体 2,914人
- 合計 14,234人

2 収蔵品のレスキュー状況（令和4年4月30日現在）

分野	収蔵品 総数	収蔵品内訳		被災 収蔵品 総数 ※1	レスキュー状況		
		作品・アーカイブズ資料・図書	寄託品		修復済 ※2	修復中 ※3	処分
歴史	42,377	39,696	2,681	29,423	25	2	0
民俗	13,981	13,951	30	13,738	9	2	29
考古	72,072	72,053	19	71,678	11,295	0	0
美術文芸	18,120	18,107	13	9,004	1,378	863	0
グラフィック	11,037	11,037	0	11,012	113	13	1
写真	33,113	32,774	339	21,395	694	0	4,802
漫画	74,503	74,503	0	73,679	429	1,441	37,479
映画	13,301	12,808	493	13,301	1,033	501	0
映像	28,131	27,238	893	2,413	0	0	1,129
合計	306,635	302,167	4,468	245,643	14,976	2,822	43,440

※1 レスキュー作業の状況等により、収蔵品数が増減する場合がある。

※2 修復不要を含む。

※3 修復前準備中を含む。

3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和4年4月30日現在）

（★：前回からの更新箇所）

【指定文化財】

現状	資料名等
修復済	★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち41件 (写真1)
修復中	・市重要歴史記念物[歴史]「古筆手鑑（披香殿）」 ★市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち2件
応急処置済	・市重要郷土資料[民俗]「獅子頭」1件 ・市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち455件 ・市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」 ★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち2,489件

写真1 市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品（香炉形土器）」



被災前



修復前



修復後

【歴史】

現状	資料名等
修復済	★絵図「川崎駅全体之図（地番区分図）」など4件 ★絵巻「宿河原の風景」（写真2） ★古文書「京浜電鉄書簡集」など3件
修復中	・絵図「主上御東幸之節玉川船はしの図」
応急処置済	★紙資料 約430件 ・紙資料（古文書、浮世絵、瓦版、絵図など） 約150件 ・物資料（屏風、建築部材、電化製品など） 約500件
応急処置中	★紙資料 約650箱
冷凍保管中	・紙資料 約40箱 ・紙資料（古文書、絵図など） 約230件

写真2 絵巻「宿河原の風景」



被災前



修復前



修復後

【民俗】

現状	資料名等
修復済	★絵巻「地獄双紙」など2件（写真3） ★絵馬「神馬」など5件
応急処置済	・紙資料（掛軸） 約 80件 ・物資料（民具など） 約 20,000件
冷凍保管中	・紙資料 約 80箱

写真3 絵巻「地獄双紙」



被災前



修復後



修復前

※被災前と撮影環境が異なるため、写真の色調に差があります。

【考古】

現状	資料名等
修復済 (修復不要を含む)	★「日向横穴墓群出土鉄刀」、「下作延福ノ円横穴墓出土直刀」、「平瀬川隧道際西横穴墓出土鉄刀」、「久本横穴墓群3号横穴墓出土鉄刀」など20件 ★市内採集（細山向原遺跡、末長遺跡、長尾鯉坂遺跡など）の縄文土器片・瓦片、石器など8,079件（修復不要）（写真4）
応急処置済	★洗浄乾燥済（2,852箱）
応急処置中	・順次、洗浄・乾燥（2,148箱）

写真4 長尾鯉坂遺跡出土資料（装飾突起の破片）



被災前



修復後（修復不要）

【美術文芸】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★安田鞞彦「草薙の剣」「佐久良」など 25 点 ★安田鞞彦画稿など（「漸入佳境」「風来山人」など） 244 点 ★大矢紀「春彩」「活火風声」「神山」（加筆）「騰雲湧煙」（加筆） ★結城天童「孟宗竹」 ★まど・みちお 絵日記 150 点 ★渡辺豊重 「鬼になれなかった鬼その一」など 4 点 ★斎藤寿一版画「宙’ 74」、版画、スケッチ など 20 点（写真 5） ★田中岑「曼荼羅風 青」など 4 点 ★石渡風古「越後獅子」 ★岡信孝「大原の里」 ★棟方志功「長者女の柵」「日没の柵」 ★水島健「アレグリアス」 ★麻生三郎「男」（写真 6）
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・安田鞞彦 「小鏡子」「神農」など 3 点 ・まど・みちお 絵日記 856 点 ★渡辺豊重「1982 年ピクニック」など 4 点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・安田鞞彦本画 1 点 ・大矢紀 24 点 ・石渡風古画稿 約 1000 点 ・結城天童作品、関連資料 約 20 点 ・佐藤惣之助、岡本かの子 約 30 点 ★市内作家 （渡辺豊重 約 50 点、田中岑 約 100 点 斎藤寿一 約 100 点、スケッチ 約 10 点、ほか現代作家約 50 点） ・関連作品、資料 （明治期版画 約 1300 点）
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍、まど・みちお関連資料など 30 箱

写真 5 斎藤寿一「宙’74」



被災前



修復前



修復後

写真6 麻生三郎「男」



被災前



修復前



修復後

【グラフィック】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★ロートレック「ドイツのバビロン」など7点（写真7） ★アール・ヌーヴォー ポスター（M・ドゥルゾール「ブロー製クーザン温泉水」など）65点 ★アール・デコ ポスター（ダニエル・ド・ロスク「青い服を着たミスタンゲット」） ★現代版画（ジェームス・ローゼンクイスト「F-111南」など）3点 ★プロパガンダポスター（アルベール・ベスナール「勝利と平和のために第3次国防公債に応募しよう」） ★デザイン書（「フランスにおける紙の技術と産業」など）18点 ★日本の現代ポスター（永井一正「I' M HERE」など）2点
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★ロートレック「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」など5点 ・アール・ヌーヴォー ポスター（シェレ「エミール・ゾラの小説『大地』」など）4点 ・アール・デコ ポスター（レオン・アストラランヌ「パンプローナのサン・フェルミン祭」など）3点 ・現代版画（デイヴィッド・ホックニー「ストラヴィンスキーのポスター」）
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・アール・ヌーヴォー ポスター 135点 ・アール・デコ ポスター 284点 ・現代版画 401点 ・プロパガンダポスター 136点 ・日本の現代ポスターなど 1819点 ・オリンピックポスター、外国ポスターなど 885点 ・マガジンカバー 681点
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ★ポスターなど 約6,000点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・外国ポスターなど 21箱

写真7 ロートレック「ドイツのバビロン」



被災前



修復前



修復後

【写真】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真（フィリップ・ポトー「遣欧使節団」など）174点（写真8） ★20世紀写真（物故作家）（ウォーカー・エヴァンズ「モーガンタウン近くの鉦夫の家 ウェスト・ヴァージニア州」など）10点 ★木村伊兵衛写真賞受賞作品（渡辺兼人「既視の街」など）148点 ★20世紀写真（存命作家）（松本徳彦「マンセル・マルソー」など）25点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真 199点 ・木村伊兵衛写真賞受賞作品 359点 ★グラフ雑誌、写真帖 18点 ・カメラ機材 10件
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀写真、20世紀写真など 36箱 ・写真帖、雑誌、書籍など 100箱

写真8 19世紀写真（フィリップ・ポトー「遣欧使節団」）



被災前



修復前



修復後

※被災前と撮影環境が異なるため、写真の色調に差があります。

【漫 画】

現状	資料名等
修復済	★漫画原画（宍戸左行「スピード太郎」、清水崑「こんこんキツネ」、楠勝平「おせん」、横山裕一「ニュー土木」など）425点（写真9） ★油彩画（ビゴー「京都のビゴー」、横山隆一「春（元タイトル「ピエロ）」」など）4点
修復中	★漫画原画（岡本一平「無題（諷刺画）」など）1,441点
応急処置済	・漫画原画 549点 ・油彩画など 70点 ・浮世絵 100点 ・軸 50点 ・漫画雑誌など 261点
応急処置中	★漫画原画、漫画雑誌など 1,744点 ★亜鉛版 1件
冷凍保管中	・原画、漫画雑誌、書籍など 約280箱

写真9 宍戸左行「スピード太郎」



被災前



修復前



修復後

※被災前と撮影環境が異なるため、写真の色調に差があります。

【映 画】

現状	資料名等
修復済 (修復不要を含む)	★秋元憲「セレベス 海軍報道班員の報告」、森弘太「河 あの裏切りが重く」2点 ★神奈川ニュースなど 35点（修復不要） ★ノーマン・マクラーレン「色彩幻想」など 6点（修復不要） ★久保一雄スケッチ 495点（写真10）
修復中	★久保一雄スケッチ 500点 ・6mm 音声資料 1点
応急処置済	・今井正「どっこい生きてる」など 1,942点 ・井手雅人関連資料 493点 ★久保一雄関連資料 4,355点 ★神代辰巳関連資料 89点 ★小川プロ関連資料 2,036点 ・独立プロ映画関連資料（ポスター） 33点
冷凍保管中	・映画監督、脚本関連資料など 24箱

写真10 久保一雄 スケッチ（「真昼の暗黒」セットデザイン画）



被災前



修復前



修復後

【映像】

現状	資料名等
応急処置済	・日本映像カルチャーセンター関連作品など 277 点
冷凍保管中	・実相寺昭雄関連脚本など 12 箱

【借用】

現状	資料名等
修復済	★犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 59 点
修復中	・犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 5 点